

令和4年度「市長と語り合う会」について（高津地区）

1 出席者状況

開催日（曜日）	会場	時間	出席人数		
			男	女	計
令和5年 1月16日（月）	高津公民館	19:00～20:00	17	1	18

- 市側出席者
市長、副市長、政策企画局長、総務部長、秘書課長

2 会の概要

- 開 会（秘書課長）
 - ・ 会の趣旨説明
 - ・ 出席者紹介
- あいさつと市政運営の説明（山本市長）

1. 令和4年度施政方針「危機を機会に転じる積極思考」

・脱炭素社会の実現に向けた取組

地球温暖化と言った気象変動は、二酸化炭素等の温室効果ガスの削減が世界的に必要とされており、日本においても、2050年までにゼロカーボンを目指すこととしている。

市においても、その実現に向けた取り組みとして、市の施設の照明をLEDに変えたり、屋根に太陽光発電装置を設置してきた。今年度においても、公用車の一部を電気自動車に変えることにしている。

・行政サービスの効率化・最適化を図る「デジタル・トランスフォーメーション」

コロナウイルス感染拡大により、離れた場所でも、人と人が話したり、会議を行ったりすることが当たり前となった。行政においても、行政サービスを便利にするため、デジタル・トランスフォーメーションということで、市役所の窓口で、今は申請書を手書きで書いていただいているものを、職員が聞き取ってデータを入力し必要な書類を整備する書かない窓口、あるいは、亡くなられた方のご家族の手続き等を1カ所で済ませることができるサービスを行うこととし、来年度に庁舎の改修も行うこととしている。

・益田市型中高一貫教育の実現に向けた取組

これまでも、益田で生まれて育った子供たちが、益田に愛着をもって、将来も益田市で活躍してくれるようふるさと教育を重点的に進めてきた。

これを中学校から高校まで繋げ一貫した形で行うこととし、学力についても、より大学の進学も有利になるようになっていきたいと考えている。現在は、市内の高校で、こうした考え方に賛同していただける学校を募っており、そうした高校と連携した取り組みを行っていきたい。

・交通インフラ及び都市基盤整備

萩石見空港について、コロナ渦で利用が減っていたが、少しずつ回復しており、本年秋以降も2往復運航が続くよう取り組んでいきたい。

自動車交通については、高速道路の整備が重要で、益田西道路、益田田万川道路についても事業化され工事が行われることとなっている。三隅益田道路については、工事が進み、令和7年度に全線開通する見込みである。残る区間は、久城から高津までの間の益田道路で、本来は高架道路や橋として繋がる予定であり、この区間は高津川と益田川の浸水想定区域にもなっているので、災害の安全度を高めるためにも重点的に国へ要望している。

都市基盤整備としては、益田川左岸南部地区の土地区画整理事業を進めていきたい。

・ワクチン接種

ワクチンについては、現在4回目を接種されておられるかと思う。感染そのものを防ぐことはできないかもしれないが、重症化を予防する効果があるので、ワクチン接種を呼び掛けていきたい。

2. 市制施行70周年

昭和27年に、当時の町、村が合併して益田市が誕生し、今年が70周年の年になる。記念式典を11月3日にふれあいホールみとで行った。市の発展に貢献いただいた方々への感謝の気持ちを表すとともに、今後さらなる発展に向けて、市民の皆様全員で気運を高めていこうという趣旨で行ったところである。これからも市民の皆様と一緒に、さらなる発展を目指していきたい。

○ 意見交換

質問項目は以下のとおり。詳細は別紙のとおり。

- ① カーブミラーの設置について
- ② マイナンバーカードについて
- ③ デジタル・トランスフォーメーションについて
- ④ 少子化対策について
- ⑤ 開発行為について
- ⑥ ワクチン接種について
- ⑦ 行政手続について
- ⑧ 鳥獣被害対策について
- ⑨ 道路の維持管理等について
- ⑩ 性教育について
- ⑪ 医療体制について
- ⑫ 中高一貫教育について

○ 閉会（秘書課長）

令和4年度「市長と語り合う会」

〔会場 高津公民館 開催日時：令和5年1月16日（月）19:00～20:00〕

要 望 事 項 等	回 答
<p>① カーブミラーの設置について 市道地方浜寄線の改良工事に伴い、カーブミラーが無断で撤去されたため、再設置を要望し、担当課と現場確認や協議を再三行ったが、設置しないとの回答であった。他の同様な場所で設置されている箇所があるし、高校の通学路で、たくさんの高校生が自転車で横切り非常に危険であるので、何とかカーブミラーを設置してほしい。</p>	<p>① 担当課より事前に状況を聞いているが、原則として市の設置は、市道と市道の交差点に設置することになっており、要望箇所は合致していない状況である。また、危険性についても、原則、車と自転車の双方に注意していただきたい。ただ、再三要望され、本日もご意見いただいたので、再検討する余地がないか担当課へ指示する。</p>
<p>② マイナンバーカードについて 市役所で印鑑証明を取得するためマイナンバーカードを持参したが、市役所では使えなかった。今、盛んにカードの取得を促しているが、市役所で使用できるようにしてほしい。</p>	<p>② コンビニでは、マイナンバーカードで取得できるが、窓口では取得できないこととなっている。いろいろご意見は伺っており検討していきたい。ただ、窓口に来られないでも、お近くのコンビニで取得できるよう利便性の向上も行っているので、ご活用していただきたい。</p>
<p>③ デジタル・トランスフォーメーションについて 出生の手続き等を、マイナンバーカードを活用し、一カ所の窓口でできるようにしてほしい。</p>	<p>③ デジタル・トランスフォーメーションにおいては、マイナンバーカードの取得が前提なので普及を進めると同時に、カードを活用したサービスも増やしていきたい。</p>
<p>④ 少子化対策について 益田に住み都会で働く人が、週末帰省する際の運賃助成等、空港を活用する等して、もっと少子化対策を行ってほしい。</p>	<p>④ 国の制度であるが、妊娠、出産時に交付金を支給するとともに相談を受け付ける事業を予定している。この他にも、出来る子育て支援については、検討していきたい。</p>
<p>⑤ 開発行為について 都市計画整備に関し、土地を開発する場合に調整池を設けているが、その調整池の管理について、計画段階で継続した適切な管理を指導することはできないか。また、開発に伴い道路を設置する際、必要となる電柱に街灯の設置を義務付けることはできないか。</p>	<p>⑤ 認識が不十分なので、公民館を通して回答する。</p>
<p>⑥ ワクチン接種について これまでワクチンを5回摂取した。今までは無料だったが、今後は、自己負担が伴うのか。また、ワクチン接種はした方がいいと思っているが、受けない方もいる。ワクチンを接種した場合の効果について知りたい。</p>	<p>⑥ ワクチン接種が無料かどうかは、法律の位置づけで変わってくる。現在政府では、深刻な部類の2類のから、インフルエンザと同じ5類へ変更することが検討されており、5類になると自己負担になってくる。また、ワクチンの効果については、重症化を防ぐ効果はあると思っており、感染拡大防止のため接種をお願いしたい。</p>
<p>⑦ 行政手続について 先日、水道料金に関するはがきが届いたが、かなり以前に亡くなった父親名義だった。市民課で死亡届を出した際に、一括して手続ができるよう行政として連携してほしい。</p>	<p>⑦ 亡くなられた際には、いろいろな部署を回り手続が必要であるため不便であったが、現在、そういう手続を1カ所で行うことができる「おくやみワンストップ」の準備を進めており、できるだけ早く実施していきたい。</p>

⑧ 鳥獣被害対策について
今も猪が頻繁に出没する。高津川と白上川の合流付近の竹藪を住处にしており、そこに逃げられると手に負えない。住民へ危害が生じないよう伐採等の対策、管理者（国）への働きかけをお願いする。

⑨ 道路の維持管理等について
側溝の溝の修繕等で土木課へ相談に行ったが、予算の関係で今年は無理とのことだったが、それでは地区の方に説明ができない。具体的な説明、また前向きな対応をお願いしたい。

⑩ 性教育について
自分の体のことをよく知って、自分の体を守るというような幅広い教育である包括的性教育を進めてもらいたい。

⑪ 医療体制について
医師の確保に、市も努力されているが、今後も確保できるのか不安である。見直しをお聞きしたい。

⑫ 中高一貫教育について
現状あまり進んでいないような気がする。今後、どのような形で進めていくのか。

⑧ 猪の被害対策については、市としても頭を悩ませており、根本的な解決策がない状況である。猟友会の協力もいただいているところであり、竹藪についても、良い解決策が見つかるよう努力していきたい。

⑨ 維持管理の予算については、毎年苦勞しているところであるが、改善すべき点を考えていきたい。また、対応については、住民の皆様の立場になったお答えができるよう指導していきたい。

⑩ 学校教育の中の性教育は、文部科学省が設けている学習指導要領に基づいて行っているのが現状である。世の中の流れを見ながら対応していきたいと考えている。

⑪ これまでは、病院の勤務医師の確保を最優先にしていたが、診療所等についても、近年高齢化等により閉所が増え、特に小児科の先生が急速に減っている。これからは、開業医についても確保していくよう取り組みが必要ではないかと考えている。医師全体が不足し十分ではないので、幅広く取り組んでいきたい。具体的には、大学からの派遣を増やしてもらうようお願いすることと、益田の子供たちが、地域医療に従事してもらうような仕組みを作る等、将来的に安心して医療を受けられるような活動に取り組んでいきたい。

⑫ 方針として、理数系の教育に力を入れて、ものづくり系の仕事、もしくは医療に従事していただく人材を最優先で育成していくこととしていた。今、島根大学や松江高専の学生らが講師となり、小中学生を対象とし教えていただくパワーアップ教室というものを開催している。これにより、小中学生の学力向上とあわせ、大学等との関係性を強め、進学した学生が益田に愛着を持って帰ってもらえるよう進めてきている。高校についても、関心を持っていただけそうな高校もあるので、具体的に協議を進め形にしていきたいと思っている。